

オスカー・ワイルド作『理想の夫』 厨川圭子=訳 角川文庫より

メイベル

あのね、トミーが又プロポーズしたの。トミーったらほんとうにプロポーズするしか
能がないみたいなのよ。昨夜も音楽室でプロポーズしたの、私がすっかり警戒心をな
くしている時にね。だって、ちょうどその時、すばらしい三重奏をやっていたんです
もの。ほんのちょっとだってあの人に言い返すなんて、とてもするにしのびなかった
のよ。だって当然でしょ、もし口をきいたら、とたんに音楽がストップしてしまった
と思うわ。音楽家なんてずいぶんわからず屋ね。こちらが耳をふさいでいたい時に限
って、口をふさいでしゃべらせてくれないんですもの。その次にトミーがプロポーズ
したのは、今日の真昼間なの。しかもあの殺風景なアキレスの像の前で。ほんとうに、
あの芸術品の真前でみんながどんなことをしているとお思いになる。あきれて物が
言えやしないわ。あんなこと、警察の方で何とかしなくちゃいけないと思うわ。

メーテルリンク作『青い鳥』 堀口大蔵・訳 新潮文庫より

ネコ

(子供たちの前にとび出して行き、いそいそとしてきげんをとるように) まあ、坊っちゃん、ようこそ。今夜はなんとまあごきげんで、お元気そうな御様子ですこと。あなたがいらっしゃるのを前もってみんなに知らせておこうと思いましたが、一足お先してたのでございますよ。万事、都合よくまいりました。今度こそきっと、青い鳥が手にはいると思いますわ。この森の国のおもだった動物を呼び集めるように、今、ウサギの太鼓でふれさせてるんですの。森のあちこちから、もうみんなの声が聞こえるでしょう。ほら、みんな臆病で、すぐには出てこようとしませんですよ。(いろいろな動物たち、オウシ、ブタ、ウマ、ロバなどの声をする。――「ネコ」はチルチルをわきへ呼んで小声で) ところで、なぜあなた「イヌ」をお連れになったんです? あたしがあれほど申しましたのに、「イヌ」はみんなとあまり仲がよくないんですよ。木たちとさえうまくないんですからねえ。あのいやなやつのおかげで全部だめになってしまいやしないか心配ですわ。

ジョン・パトリック・シャンリィ戯曲集『お月さまへようこそ』

鈴木小百合=訳 白水社 『星降る夜に出掛けよう』より

女

私が痩せているからって羨まないで。本当は羨んでいないくせに、羨ましいって言うんだから、頭に来るのよ。私が何故痩せているかわかったら……私、教えてあげるわ、何故痩せているか。栄養不足なの。食べ物の話じゃないわよ、あなたはそう思ったかもしれないけど。世の中の話をしているの。世の中は私に栄養を与えてくれない。少なくとも今はね。私が何の話をしているかわかる？ わからないでしょ。何のことかさっぱり。あなたが無知なのは—あなた無知なのよ、本当—それは、あなたが無関心だからよ。もっと関心があれば、私が何の話をしているかわかる筈よ。少なくともあなたの愚かさがもっと可愛いらしく思えるかもしれない。頭の愚かさなら、簡単に許せるのよ。でも、あなたのは—よくあることだけど許せないのよね—あなたのは心の愚かさなの。